

ぼうさいガイド

台風がもたらす災害

【作成】日本赤十字社愛知県支部、名古屋地方気象台
【監修】愛知工業大学地域防災研究センター長 横田 崇 教授

大切な命を守るために、
台風について知っておこう！



「大雨」による災害

土砂災害



平成26年台風第11・12号では、山の土砂が大雨で一気に流されました。土砂は家の中まで流れこみ、家が傾き壊される被害が発生しました。

浸水害



1時間に100mmを超える猛烈な雨が降り、排水が追いつかずに道路や地下道（アンダーパス）等が冠水しました。

洪水害

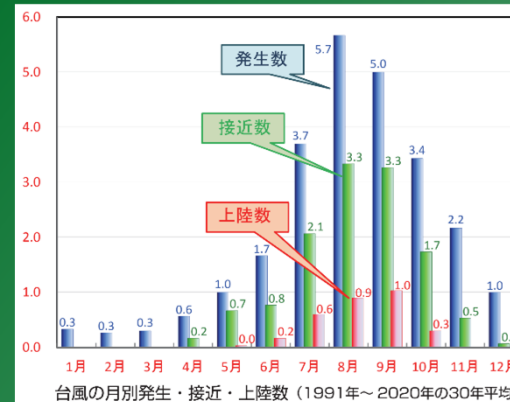


平成27年台風第18号と前線による大雨では、川の水が堤防を越え、家が浸水し、壊される被害が発生しました。

台風の月別発生・接近・上陸数の平年値

台風は1年間に平均して25個程度発生し、12個程度日本に接近、3個程度日本に上陸しています。

発生・接近・上陸ともに、7月から10月にかけて最も多くなります。



「暴風」による災害

暴風害

暴風で剥ぎ取られた屋根
(沖縄県那覇市)
写真提供: 那覇市役所



暴風とは、暴風警報基準以上の非常に強い風のことです。平成19年台風第4号では、暴風により建物の屋根がはぎとられ、飛ばされる被害が発生しました。風速15～20m/秒の風が吹くと歩いている人が転び、風速40m/秒をこえる風が吹くと電柱がたおれることがあります（ちょっとぼうさい【台風Ⅰ】解説編 参照）。



「高潮・高波」による災害

高潮害



高潮による浸水被害（香川県高松市） 写真提供: 高松市役所

平成16年台風第16号では、瀬戸内海沿岸で高潮が発生しました。沿岸には一気に水が流れ込み、道路や家、車が水につかる被害が発生しました。

波浪害



高波による道路の落橋被害
(北海道神恵内村)
写真提供: 北海道開発建設部

平成16年台風第18号では、波の高さが6mを超え、海岸沿いの道路にかかっている橋が、壊され、落ちる被害が発生しました。

ぼうさいガイド

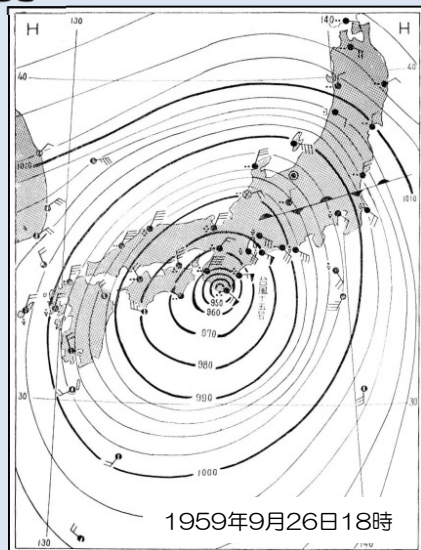
伊勢湾台風の記録

[作成] 日本赤十字社愛知県支部,名古屋地方気象台
[監修] 愛知工業大学地域防災研究センター長 横田 崇 教授

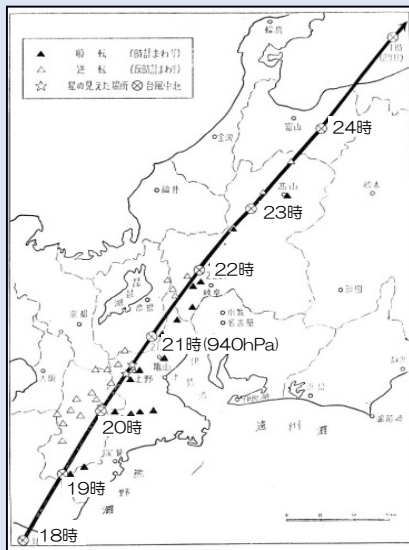
大切な命を守るために、
台風について知っておこう！



伊勢湾台風上陸時の地上天気図と台風経路図



上陸時の地上天気図



伊勢湾台風経路図

伊勢湾台風の高潮による被害



半田市内の被害状況

伊勢湾台風で発生した高潮により、総延長30kmを超える防波堤が壊れ、死者・行方不明は5千人を超え、昭和以降日本で発生した自然災害のうち地震・津波を除いて最大級の災害となりました。



伊勢湾台風のプロフィール

台風第15号 英名ベラ(Vera)

昭和34年(1959年)9月26日18時頃
和歌山県潮岬の西に上陸

●上陸時の中心気圧 929hPa

●最大風速と最大瞬間風速

観測所	最大風速	最大瞬間風速
伊良湖	南45.4 m/秒	南55.3m/秒
名古屋	南南東37.0 m/秒	南南東45.7m/秒

●名古屋港の最高潮位 3.89m

●被害状況

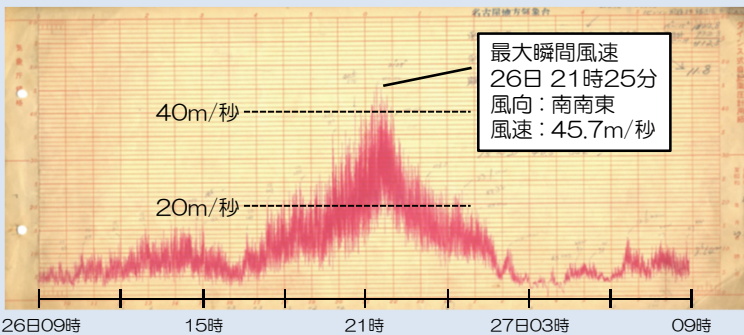
死者・行方不明者 全国合計 5098名
(犠牲者は愛知・三重県に集中)



伊勢湾台風の観測記録

昭和34年(1959年) 9月26日9時~27日9時

名古屋地方気象台の瞬間風速



最大瞬間風速
26日 21時25分
風向：南南東
風速：45.7m/秒

名古屋港の潮位



最高潮位
26日 21時35分
3.89m